

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 城南中学校プラン

《学校の教育目標》 未来を主体的に切り拓き、よりよく生きることのできる生徒の育成

《本年度 学校の重点目標》 「主体的・対話的で深い学びの実現と、豊かな人間関係の構築」

自ら課題を見つけ、自ら学ぶとともに、他者と協調できる
【つくる力】

自ら考え、主体的に判断し、コミュニケーションを図ることができる
【つなぐ力】

主体的に行動し、課題を解決するために自らを律することができる
【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載。
- ②ねらいとまとめを設定し、個の振り返りを大切にする。(単元ごと)
- ③ChromeBookを活用して情報収集、互いにコミュニケーションを行う。(1単元に複数回)
【成果指標】生徒による授業評価で「授業が分かる」とする評価が3.3以上(4段階評定尺度)
- ④ペアやグループ活動を取り入れ、思考・判断・表現活動を行う。(毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の回数や時間短縮を目指し、原案を事前に提示できるようにする。(毎回)
【成果指標】生徒アンケートで「授業が分かりやすい」が3.3以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する。(毎日)
不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し、全職員で共有する。(月1回)
学校生活の状況や悩みを把握する生徒・教員の二者面談を行う。(学期1回)
【成果指標】不登校数が20人以下、いじめの認知件数が10%増加、100%解消。
- ②生徒会が主体となった「休み時間の安全な過ごし方」「自転車事故の発生場所、原因」を伝える取組を行う。(月1回)
- ③生徒会が主体となり、学年ごとに生徒同士が触れ合う行事を企画する。(年2回)

【体力向上】

- ①体育の時間のはじめに、柔軟性を高めるストレッチ運動を行う。(毎時間)
- ②「しなやかさと強さ向上」(部活動で柔軟運動と持久力アップ)、「1校1取組」運動
・体力アップシート活用率：目標100%

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①毎月挨拶重点週間を設定して、登校時に生徒会やPTAと連携して挨拶を行う。(毎月)
- ②掃除開始の5分前行動を推進する。(毎日)
- ③城南ノート(自主学习)の確実な定着のため、帰りの会前のJタイムで授業の振り返りと家庭学習のめあて立てを行う。(毎日)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。 [要綱 P64～参照]
- 【特別支援教育】 「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のために」を活用し、同学年や特支コーディネーターによる協働的な支援を行う。 [要綱 P77～参照]
- 【キャリア教育】 キャリアパスポートを活用して自己の伸びを認め合う。 [要綱 P35～参照]